

経済学部 **小論文** (後期日程・100点)

3月12日(木) 13時30分～15時00分(90分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子には、順に表紙一枚、下書用紙一枚、問題用紙二枚、答案用紙一枚、白紙一枚、合計六枚あります。
- 3 試験開始の合図があった後に、監督者の指示に従って、4ページの答案用紙に氏名(二箇所)と受験番号(二箇所)を、正しく記入してください。
記入が済んだ後に、この冊子の3ページを開き、重ねたままで折り目の端に少し切れ目を入れ、折り目に沿って丁寧に切り離してから、解答を始めてください。
切り離し損なった人は、静かに手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 試験中にこの冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁または答案用紙の汚れ等に気付いた場合は、静かに手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は4ページの答案用紙に縦書きで書いてください。
- 6 試験終了後は、答案用紙一枚だけを監督者の指示に従って提出してください。
- 7 下書用紙は、自由に利用してください。
- 8 答案用紙以外は、すべて持ち帰ってください。

経済学部 **小論文**

問題

次の文章を読んで、後の問1・問2に答えよ。(配点・100点)

著作権の関係により掲載できません。

著作権の関係により掲載できません。

(齋藤純「『不平等を考える』による)

問1 傍線部④に「運の平等主義と呼ばれる議論」とあるが、著者は「運の平等主義」において、どのような不平等が「許容しえない不平等」とされ、どのような不平等が「正当化」されると説明しているか、二百字程度でまとめよ。

問2 傍線部⑤に出てくる女性(近親者を介護するために学業やキャリアの継続を断念した「彼女」)のジェンダーにもとづく、「運の平等主義」では是正されない不平等を是正するために、どのような方策が考えられるか。

なお解答では、「関係論的な平等主義」に関する著者の説明をまとめた上で、最終段落を参考にしながらあなた自身の考えを、合わせて六百字程度で述べよ。ただし、あなた自身の考えを展開するにあたり、「関係論的な平等主義」に賛同するか否かは採点に影響しない。